

公開

002

TR-IT-0315

音声言語データベースの
日本語形態素情報マニュアル
— 最終版 —

Japanese Morphological Information Manual
for ATR Spoken Language Database

竹沢 寿幸
Toshiyuki Takezawa

1999. 10

内容梗概

ATR 音声翻訳通信研究所で構築した音声言語データベース等には日本語形態素情報が付与されている。本マニュアルの内容はその最終的な作業基準である。

ATR 音声翻訳通信研究所
ATR Interpreting Telecommunications Research Laboratories

© 株式会社 エイ・ティ・アール音声翻訳通信研究所
© 1999 by ATR Interpreting Telecommunications Research Laboratories

～解説～

文中の記号について

- ・・・ 標題の品詞の具体例（過去に出現済み）
- ・・・ 標題の品詞以外の具体例（過去に出現済み）
- ★・・・ 標題の品詞の具体例（過去に未出現）
- ☆・・・ 標題の品詞以外の具体例（過去に未出現）

活用語の表記について

｜出現形｜読み｜正規形｜品詞｜活用の種類｜活用形｜とする。

e x. 「見る」

｜見｜ミ｜見｜本動詞｜一段｜語幹｜

｜る｜ル｜る｜語尾｜一段｜終止｜

目次

1	名詞	1
1-1	固有名詞	1
1-2	サ変名詞	3
1-3	普通名詞	4
1-4	数詞	8
1-5	代名詞	9
1-6	人名	11
1-7	住所名	12
1-8	日時	13
2	形容名詞	14
3	動詞	16
3-1	本動詞	16
3-2	補助動詞	21
4	語尾	23
5	形容詞	25
6	副詞	28
7	連体詞	34
8	接続詞	35
9	感動詞	36
10	間投詞	38
11	助動詞	39
12	助詞	44
12-1	格助詞	44
12-2	準体助詞	45
12-3	係助詞	46
12-4	副助詞	47
12-5	並立助詞	49
12-6	接続助詞	50
12-7	終助詞	52
12-8	連体助詞	53
12-9	引用助詞	55
13	接頭辞	56
14	接尾辞	58
15	その他	62
16	助詞の整理	63
17	助詞の接続表	69
18	活用表	72
18-1	動詞活用表	72
18-2	形容詞活用表	73
18-3	助動詞活用表	74
18-4	助動詞（文語）活用表	76

1 名詞

認定基準

自立語。活用しない。格助詞の助詞を付けて文の主語になる。

固有名詞、サ変名詞、形容名詞、普通名詞、数詞、代名詞、人名、住所名、日時から構成されている。

1 — 1 固有名詞

固有名詞とは、個物をそのものとして特定するために与えられた名前である。そのものが、同じ種類の他のものとは取り替えがきかないと感じ、そのものを他のものと区別したいと思ったとき、人はそのものに固有の名前を与える。だから、固有名詞には、必ずその名前を創始した人がいる。

これに対して、普通名詞は、同じ種類のものをひっくるめて呼ぶときの名前であり、固有名詞の持つ「かけがえのなさ」という性質がない。人が「犬は…」というときはどの犬でもよいのである。「犬」という名詞を創始した特定の人もない。それはむしろ「共同社会」から自然に生まれた言葉であると言えよう。

これまでに存在しなかったまったく新しいものが出現したとき、それに与えられる名前にも、固有名詞的なものと普通名詞的なものがある。「マッキントッシュ」や「ウィンドウズ95」は前者であり、「パーソナルコンピュータ」は後者である。この場合でも、固有名詞的なものには「かけがえのなさ」があり、その名前を創始した人を思い浮かべることができるが、普通名詞的なものにはそのような性質がない。

以下では、固有名詞と普通名詞のこのような違いを考慮しながら、具体的な例を挙げて説明する。

(1) 個物を命名した場合の名前を固有名詞とする（人名、住所名を除く）。

ex. 東京、イギリス、ヨーロッパ … 地名

（地名のうち住所表記として現われているものには「住所名」と品詞付けする。）

A T R 音声翻訳通信研究所、日本航空 … 会社名

飛鳥時代 … 時代名

平成 … 年号

環境庁、科学技術庁 … 特定の官庁名

(2) 指示対象が存在する地名を冠した名詞で、指示対象がユニークに特定できるものを固有名詞とする。

ex. ロサンゼルス支店 （「支店」というものはロサンゼルスに沢山あるかもしれないが、「ロサンゼルス支店」といえば特定の会社の支店を指す。）

- (3) 建物などの名前で、指示対象を所有するものの名前を冠しており、地域を指定すると指示対象がユニークに特定できる名詞を固有名詞とする。
ex. ヒルトンホテル、アメリカ大使館
- (4) 商品名、ツアー名、便名を固有名詞とする。
ex. ネスカフェ、マッキントッシュ ... 商品名
京都アフタヌーンツアー ... ツアー名
ひかり ... 便名
(数字などを含む便名は分割する：「ひかり／二／百／二／号」「ひかり／号」)
- (5) 題名（書名、講演名、催し物名など）を固有名詞とする。
ex. 太閤記、フィネガンスウェイク、ジョーズ、祇園祭り
- (6) 固有名詞は長単位分割を原則とする。
ex. ATR音声翻訳通信研究所、飛鳥時代、ロサンゼルス支店
- (7) 起源を示す地域の名前を冠してるが「たかさんの～」ということが出来る名詞、あるいは抽象的なものを指す名詞は普通名詞とする。
ex. 日本庭園、アメリカ人、アメリカ大使・・・ (普通名詞)
フランス語・・・ (普通名詞)
- (8) 会社名、部課名、役職名が連なっている組織名は次の例のような単位で分割し、それぞれの部分で品詞を判断する。
ex. 住友銀行「固有名詞」／大阪支店「固有名詞」／総務「普通名詞」／部「接尾辞」
- (9) 複合的な固有名詞を略して、固有名詞を含まないような部分により元の固有名詞が指すものを指している場合は普通名詞とする。
ex. 「ジョイントミーティング」←「98年度計算言語学日米ジョイントミーティング」
- (10) 「宅急便」のように本来特定企業の商品名だが、その企業の商品以外の一般的な事物を指すような用法がある場合、商標であると判断できるものは固有名詞とし、判断に迷うものは普通名詞とする。

1 — 2 サ変名詞

A T R 辞書内にサ変名詞でエントリーされている語は文中のどこに出現しても動作性のある無しにかかわらず「サ変名詞」とする。

また、今後新しい名詞が現われた場合、大辞林で「スル」の表記があればサ変名詞とする。逆に大辞林で「スル」となっていない場合は、たとえ「〇〇する」という用法で用いられていても普通名詞とする。

- 翻訳 (サ変名詞) 電話 (サ変名詞) の 研究 (サ変名詞)
- そちらのホテルに予約したいんですが。 → 予約 (サ変名詞) / し (補助動詞)
- これは大切な仕事 (サ変名詞) です。
- お部屋のご希望 (サ変名詞) はございますか。
- お支払い (サ変名詞) 方法はどのようになさいますか。
- チェックイン (サ変名詞) のご予定 (サ変名詞) 時刻は何時ごろになりますか。
- お届け (サ変名詞) に上がります。
- お迎え (サ変名詞) に上がります。
- 招待講演のお引き受け (サ変名詞) ありがとうございます。
- ご迷惑 (サ変名詞) 掛けまして～
- ご迷惑 (形容名詞) にならないよう～
- 京都の庭園を東西のブロック (サ変名詞) に分けて、それぞれ～
- ターミナルバイクスも二ブロック (接尾辞) しか離れておりませんが

1 — 3 普通名詞

同一種類の事柄に通じて用いられる名称であり、その中のサ変名詞、形容名詞を除いたものである。

単独で意味をなす長さで一語と認定し、切った結果意味が変わってしまう場合は分割できない。

A T R 辞書内のエントリーを基本とする。A T R 辞書に無ければ大辞林の見出し語を認定基準とする。(派生語は採用しない)

● クラブ (普通名詞) 内の 施設 (普通名詞)

● フロント (普通名詞) の 方 (普通名詞) に来て下さい。

● 日本人 (普通名詞)

(1) 学科名について

学科名は抽象的であるし、どこの学校でも同じような学科があるので、長単位で普通名詞とする。

● 英文科 (普通名詞)

(2) 動物名、植物名について

分割すると意味が通じなくなるので、大辞林にエントリーが無くても一語で普通名詞とする。

● ヒマラヤ杉 (普通名詞)

● 秋田犬 (普通名詞)

(3) 外来語の扱いについて

同一概念を表す英語などは長単位で普通名詞とする。

● アイスレモンティー (普通名詞)

● テニスコート (普通名詞) の予約

○ ホテル (普通名詞) / フロント (普通名詞) です。

(同一概念でない為、分割する)

(4) 転成名詞について

格助詞類の助詞が接続する場合が多い。「支払」「考え」「持ち」など動詞の連用形の名詞的な使われ方について、名詞とするか動詞とするかは、文脈で判断する。

○お急ぎ（本動詞）でございますか。

○現在どちらにお泊まり（本動詞）ですか。

●お泊まり（普通名詞）は何名様で何泊のご予定ですか。

○どういったレストランをお考え（本動詞）ですか。

●何か特別のお考え（普通名詞）がございますか。

●八百五十人乗り（普通名詞）クルーザーで、楽しく過ごして、～。

(5) 「ある」「ない」の前

「ある」「ない」の前にくる本動詞の連用形は普通名詞とする。

●途中から参加しても差し支え（普通名詞）ありません。

●お変わりなくお過ごしてください。→ 変わり（普通名詞）／な（形容詞）／く（語尾）

●お間違えないでしょうか。→ 間違い（普通名詞）／な（形容詞）／い（語尾）

○食べ過ぎないように気を付ける。

| 食べ過ぎ | タベスギ | 食べ過ぎ | 本動詞 | 一段 | 語幹 |

| な | ナ | な | 助動詞 | 形容詞 | 語幹 |

| い | イ | い | 語尾 | 形容詞 | 連体 |

*動作を打ち消す場合は助動詞。

(6) 副詞と間違いやすい語について

時の概念を表す語は普通名詞とする。

●現在（普通名詞）一名です。

●昨日（普通名詞）おいでいただいた方ですか。

●当日（普通名詞）お待ちしております。

(7) 切り方の判断について

ある語が a + b に分割できそうな時、普通名詞（サ変名詞）である事が確かでない方が接頭辞か接尾辞でない場合は一語で普通名詞とする。

- 開催地
- 来年度

○長（接頭辞）／時間（普通名詞）

○各（接頭辞）／国語（普通名詞）

(8) 接頭辞に数量詞を形成する接尾辞が直接ついている語について一語で普通名詞とする。

- 何日（普通名詞）滞在されますか。
- 何回（普通名詞）でもお試してください。

以下の場合には分割する。

○数百円だったと思います。→ 数（接頭辞）／百（接尾辞）／円（接尾辞）

○何部屋ご必要でしょうか → 何（接頭辞）／部屋（普通名詞）

(9) 「～保険」について

大辞林に立項されているような「生命保険」「傷害保険」などはすべて一語とする。大辞林に立項されていないものについては全て「～（名詞）／保険（普通名詞）」に分割する。

例

生命保険（普通名詞）、損害保険（普通名詞）

搭乗者傷害保険→搭乗者（普通名詞）／傷害保険（普通名詞）

スポーツ傷害保険→スポーツ（普通名詞）／傷害保険（普通名詞）

車両保険→車両（普通名詞）／保険（普通名詞）

ガン保険→ガン（普通名詞）／保険（普通名詞）

(10) 「～コース」について

コースの品詞付けの基準は、コースの前の語がカタカナ表記の外来語であるかどうかで判断する。

カタカナ外来語＋コース → 分割せず一語で普通名詞

カタカナ外来語以外＋コース → 名詞＋接尾辞

●おまかせコース → お（接頭辞）／まかせ（普通名詞）／コース（接尾辞）

(11) 「ところ」について

「ところ」を「ばかり」や「つもり」に言い替えてみて意味が通じるかどうかで助動詞か普通名詞かを判断する。

意味が通じる → 助動詞

意味が通じない → 普通名詞

(12) 「～料理」について

「国名＋料理」は一語で普通名詞とする。

e x. 日本～、中国（中華）～、フランス～、イタリア～、スペイン～、ドイツ～…

1 - 4 数詞

数や量または順序を表す名詞。

(1) 短単位分割を原則とする。

●三 (数詞) / 万 (接尾辞) / 五 (数詞) / 千 (接尾辞) / 円 (接尾辞)

●三 (数詞) / 七 (数詞) / 一 (数詞) / 四 (数詞)

(2) 数詞としての意味が希薄になっているものは普通名詞とする。

●七五三 (普通名詞)

(3) 数詞の読みについて

原文に読みが入っている場合はその読みを優先する。

原文に読みが入っていない場合は下の表を参照して一般的な口語読みを入れる。

零	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
ゼロ	イチ	ニ	サン	シ	ゴ	ロク	シチ	ハチ	キュウ	ジュウ

(4) 英語の数詞の表記について

正規表現はカタカナのままとする。

●テン (数詞) / パーセント (接尾辞)

1 — 5 代名詞

名称を直接言わずに「指示」を行う語。話し手、書き手および聞き手、読み手の存在する場によって指示する対象が異なる。

正規表現は原則としてひらがなとする。

ただし、「皆」「私」「君」「彼」などの正規表現は漢字とする。

例

私、君、これ、それ、あれ、どれ、ここ、そこ、あそこ、どこ、こちら、そちら、あちら、どちら、いくつ、いくら

(1) 「お宅」について

意味によって切る場合と一語で代名詞の場合とに使い分ける

●お宅 (代名詞) 様のお名前を教えてくださいませんか。

○田中さんのお (接頭辞) / 宅 (普通名詞) は広い。

(2) 多品詞語について

①「いつ」は助詞を伴って代名詞になる場合と、助詞を伴わず単独で副詞になる場合がある。

●いつ (代名詞) がよろしいですか。

●いつ (代名詞) ですか

●いつ (代名詞) 頃 (接尾辞) お分かりになりますか。

○いつ (副詞) おいでになりますか。

②「いくら」は料金に関する場合は代名詞となり、程度を表す場合は副詞となる。

●いくら (代名詞) で売ってくれますか。

○いくら (副詞) 電源をオンにしてもだめなんです。

③「何」は数量詞を表す時は接頭辞となる。

●何（代名詞）かございましたら、フロントの方までお申しつけください。

○何部屋ご必要でしょうか。→ 何（接頭辞）／部屋（普通名詞）

○何名（普通名詞）様でございますか。

(3) 代名詞＋くらい（ぐらい）について

代名詞【これ、それ、あれ、どれ】＋くらい（ぐらい）→ 代名詞＋副助詞とする。

連体詞【この、その、あの、どの】＋くらい（ぐらい）→ 長単位で副詞・普通名詞とする。

1 — 6 人名

人の名前。姓、名からなる人名は姓と名に分割する。

●鈴木（人名）／真弓（人名）

●エイミー（人名）／・（記号）／ハリス（人名）

(1) 人名を含む固有名詞について

「人名」という品詞は指示対象が人である場合にのみ使われるので、例えば、複合固有名詞の中に人名が含まれていても「人名」とはしない。

★鈴木商店（固有名詞）

1-7 住所名

住所表示に使われる地名。

短単位分割を基準とし行政単位の「都」「府」「県」「市」「区」などは、接尾辞とする。

- 大阪（住所名）／府（接尾辞）／吹田（住所名）／市（接尾辞）
江坂（住所名）／町（接尾辞）／一（数詞）／番地（接尾辞）

※単独で出現した場合は固有名詞となる。

e x .

- 中央区の備後町っていうところにあるんですけど～ →中央（固有名詞）／区（接尾辞）
備後町（固有名詞）

(1) 行政単位でない「町」が付いている語について
「～区」「～郡」の後ろにくる「～町」は一語で住所名とする。

- 大阪（住所名）／市（接尾辞）／北（住所名）／区（接尾辞）／茶屋町（住所名）

- 相楽（住所名）／郡（接尾辞）／精華町（住所名）

(2) 住所表記のマンション名なども住所名である

- 東京／都／杉並／区／赤坂／六／丁目／赤坂マンション（住所名）

- サンフランシスコ二十五番通り百三十四、アパート二、郵便番号が九四一一六、でございます。
（普通名詞）ルームナンバーと同じ概念なので。

(3) 北海道について
一語で住所名となる

- 北海道（住所名）／稚内（住所名）／市（接尾辞）

(4) 外国の住所について
行政区画単位で分割する

- ノースミシガンアベニュー（住所名）／シカゴ（住所名）／イリノイ（住所名）

1 — 8 日時

月、日、および時刻を表すもの。

●四月（日時）／二十日（日時）

●時刻は九時（日時）／半（日時）です。

●月曜日（日時）

●土（日時）／日（日時）を除く

○五（数詞）／時間（接尾辞）／三（数詞）／十（接尾辞）／分（接尾辞）

2 形容名詞

認定基準

事物の性質、状態を表す名詞。

大辞林辞書に（形動）の表記がある語は形容名詞となる。

形容名詞は「だ」「です」「たる」を伴う場合が多い。体言が接続する場合も形容名詞となる。

●とても綺麗（形容名詞）なホテルです。

●それで結構（形容名詞）です。

●安全（形容名詞）／運転（サ変名詞）でお越してください。

(1) 性質、状態を表すものではなく、抽象的なものを指す場合は普通名詞とする。格助詞類の助詞が接続する場合および連体修飾される場合が多い。

●最高（形容名詞）気温がだいたい～

○最高（普通名詞）が百名までです。

●電話番号も必要（形容名詞）ですか。

○必要（普通名詞）はございません。

●手数料は一律（形容名詞）四百円のようにです。

(2) 性質、状態を表すか抽象的なものを表すか迷う場合は形容名詞とする。

●今度の旅行を楽しみ（形容名詞）にしています。

(3) 「的」が接続する語について

「的」が接続する語は以下のように切り方を統一する。

●基本的に → 基本的（形容名詞）／に（助動詞「だ」）

●自動的に → 自動的（形容名詞）／に（助動詞「だ」）

●総括的な → 総括的（形容名詞）／な（助動詞「だ」）

●時間的経緯 → 時間的（形容名詞）／経緯（普通名詞）

(4) タルト型形容名詞について

文中に形容名詞+助動詞「たる、たり、と」の形で現れる語。

●確たる → 確（形容名詞）／たる（たる | タル | たり | 助動詞 | 形容動詞 | 連体）

●堂々と → 堂々（形容名詞）／と（と | ト | たり | 助動詞 | 形容動詞 | 連用）

(5) 副詞か形容名詞か迷う語について

p 29 参照

●非常に高いお部屋です。

| 非常 | ヒジョウ | 非常 | 形容名詞 |

| に | ニ | だ | 助動詞 | 形容動詞 | 連用 |

●絶対に行こうと思っている。

| 絶対 | ゼツタイ | 絶対 | 形容名詞 |

| に | ニ | だ | 助動詞 | 形容動詞 | 連用 |

(6) 述語部分に当たる形容名詞について

格助詞類の語が接続した場合でも、述語部分に当たる語は形容名詞となる。

●仕事は正確（形容名詞）をモットーにしております。

3 動詞

認定基準

自立語。活用する。言い切る形は五十音図のウ段の音で終わる。述語になる。事物の動作、作用、存在を表す。本動詞、補助動詞から構成されている。

3 — 1 本動詞

(1) 原則として語幹と活用語尾に分割する。ただし、不変化部分を語幹とみなすことを基本とする。活用の種類は五段、一段、特殊、カ変、サ変とする。

●ファックスを送ることはできない。

| 送 | オク | 送 | 本動詞 | 五段ラ | 語幹 |
| る | ル | る | 語尾 | 五段ラ | 連体 |

●東大寺の大仏をぜひ見るべきだと勧められた。

| 見 | ミ | 見 | 本動詞 | 一段 | 語幹 |
| る | ル | る | 語尾 | 一段 | 終止 |

(2) 一段動詞について

一段動詞の未然形・連用形には活用語尾がなく、語幹と同じ形が用いられる。

●エキストラベッドを付けたとして、おいくらになりますか。

| 付 | け | ツケ | 付 | 本動詞 | 一段 | 語幹 |
| た | タ | た | 助動詞 | 特殊 | 終止 |

(3) カ変動詞、サ変動詞について

a. カ変動詞「来る」、サ変動詞「する」は語幹と活用語尾に分割できないので一語で本動詞とする。

●妻と二人で旅行に来ているのです。

| 来 | キ | 来 | 本動詞 | カ変 | 連用 |

b. サ変動詞については語幹と語尾を分割する場合がある。

●烏丸通りに面したところです。

| 面 | メン | 面 | 本動詞 | サ変 | 語幹 |
| し | シ | する | 語尾 | サ変 | 連用 |

(4) 慣用表現について

慣用表現とは、複数の語からなる表現で、個々の語の意味から全体の意味を構成できないものを指す。

- どのミュージカルをご覧になるんでしょう。

| ご覧にな | ゴランニナ | ご覧にな | 本動詞 | 五段ラ | 語幹 |
| る | ル | る | 語尾 | 五段ラ | 連体 |

- チケットを手に入れるにはどうしたらいいでしょうか。

| 手に入れ | テニイレ | 手に入れ | 本動詞 | 一段 | 語幹 |
| る | ル | る | 語尾 | 一段 | 終止 |

(5) 慣用表現とまぎらわしい例

- a. 「する」は実質的な意味が希薄な動詞であるが、原則として慣用表現とは取らない。

- 楽しみ／に／する → 形容名詞／助動詞／本動詞

- 気／に／する → 普通名詞／格助詞／本動詞

b. 「・・・に行く」も同様に慣用表現とは取らない。「・・・に行く」の・・・が大辞林にエントリーされている場合でも慣用表現（一語で本動詞・名詞）としない。その際「・・・に行く」の「・・・」が名詞か動詞かの判断は下に「が」「を」「の」の格助詞類の語を付けて意味が通じれば普通名詞で通じなければ本動詞とする。

- 遊び／に／行／く → 普通名詞／格助詞／本動詞／語尾

- 飲／み／に／行／く → 本動詞／語尾／格助詞／本動詞／語尾

(6) 不規則な活用について

次にあげた動詞はいずれも不規則な活用をするので、活用の種類は「特殊」とする。

いら／す いらっしゃ／る おっしゃ／る くださ／る
くれ／る ございま／す なさ／る

- 窓口までいらしてください。

| いら | イラ | いら | 本動詞 | 特殊サ | 語幹 |
| し | シ | す | 語尾 | 特殊サ | 連用 |

(7) 接頭辞との結合が強い語句について
接頭辞を含めて一語で動詞とする。

●自由の女神をご覧いただきます。

|ご覧|ゴラン|ご覧|本動詞|特殊|語幹|

●お氣をつけておいてください。

|おいで|オイデ|おいで|本動詞|一段|語幹| (基本形は「おいでる」)

(8) 間違いやすい例

●どちらのクレジットカードでお支払いになるかと番号をお願いします。

|お|オ|お|接頭辞|

|支払|シハラ|支払|本動詞|五段ワ|語幹|

|い|イ|う|語尾|五段ワ|連用|

|にな|ニナ|にな|補助動詞|五段ラ|語幹|

|る|ル|る|語尾|五段ラ|終止|

(接頭辞と補助動詞に囲まれている場合は本動詞とする)

○お支払い (サ変名詞) 方法を教えてくださいませんか。

○支払い (サ変名詞) はカードでお願いできますか。

●ではお部屋の空き状況を確認いたしますので、

|空|ア|開|本動詞|五段カ|語幹|

|き|キ|く|語尾|五段カ|連用|

|状況|ジョウキョウ|状況|普通名詞|

(サ変名詞が無い場合)

○和室のみの空き (普通名詞) になっておりますので、

○シングルユースでしたら空き (普通名詞) がございしますが。

●お届けするようにしております。

|し|シ|する|本動詞|サ変|連用|

●そちらにお届けします。

|お|オ|お|接頭辞|

| 届け | トドケ | 届け | 本動詞 | 一段 | 語幹 |
| し | シ | する | 補助動詞 | サ変 | 連用 |

○朝は英字新聞をお届けにあがります。

お届け	オトドケ	お届け	サ変名詞		
に	ニ	に	格助詞		
あが	アガ	あが	本動詞	五段ラ	語幹
り	リ	る	語尾	五段ラ	連用

●そしてタイムズスクエアでお乗り換えください。

乗り換え	ノリカエ	乗り換え	本動詞	一段	語幹
くださ	クダサ	くださ	補助動詞	特殊ラ	語幹
い	イ	る	語尾	特殊ラ	命令

○大阪駅で環状線に乗り換え (サ変名詞) ですね。

●京都で立ち往生とは思ってもいませんでした。

て	テ	て	接続助詞		
も	モ	も	係助詞		
い	イ	居	本動詞	一段	語幹

●詳しい事は直接お問い合わせいただくようになりますが。

お問い合わせ	本動詞	一段	語幹		
いただ	イタダ	いただ	補助動詞	五段カ	語幹
く	ク	く	語尾	五段カ	連体

○イベントの問い合わせ (サ変名詞) なのですが。

●どういったレストランをお考えですか。

| 考え | カンガエ | 考え | 本動詞 | 一段 | 語幹 |

○それはいい考え (普通名詞) ですね。

○特急券は払い戻し (サ変名詞) させていただきます。

○差額を払い戻し (サ変名詞) してくれるということで

○今から申し込み (サ変名詞) できますでしょう

○あした十時ごろで申し込み（サ変名詞）できますか。

(9) 「ら抜き言葉」について

本動詞と補助動詞の五段活用において「ら抜き言葉」が出現した場合は以下のように分割する。

ex. 「着れる」

| 着 | キ | 着 | 本動詞 | 一段 | 語幹 |

| れ | レ | れ | 助動詞 | 一段 | 語幹 |

| る | ル | る | 語尾 | 一段 | 終止 |

(10) 「可能動詞」について

本動詞と補助動詞の五段活用において「ら抜き言葉」ではなく「可能動詞」が出現した場合は「登れ（本動詞 | 一段 | 語幹）／る（語尾 | 一段）」とする。

大辞林に立項されていなくても認める。

(11) 「過ぎる」について

「言い過ぎる」「食べ過ぎる」などのように、一語で大辞林に載っている場合は一語で本動詞とする。辞書に載っていない場合は「○○／過ぎ／る」と分割する。

●食べ過ぎる（本動詞）

○働き過ぎる

| 働 | ハタラ | 働 | 本動詞 | 五段カ | 語幹 |

| き | キ | く | 語尾 | 五段カ | 連用 |

| 過ぎ | スギ | すぎ | 補助動詞 | 一段 | 語幹 |

| る | ル | る | 語尾 | 一段 | 終止 |

○遅すぎる

| 遅 | オソ | 遅 | 形容詞 | 形容詞 | 語幹 |

| すぎ | スギ | すぎ | 補助動詞 | 一段 | 語幹 |

| る | ル | る | 語尾 | 一段 | 終止 |

3 — 2 補助動詞

動詞本来の意味が薄れ、他の動詞に付いて付屬的な意味を表す動詞。本動詞と同様、原則として語幹と活用語尾に分割する。

正規表現は原則としてひらがな。例外：願う、願える、申し上げる

(1) 補助動詞の環境

a. 動詞の連用形に付いて、意味を添えるもの。

●お茶をお楽しみいただきます。

| いただ | イタダ | いただ | 補助動詞 | 五段カ | 語幹 |
| き | キ | く | 語尾 | 五段カ | 連用 |

●行けそうにもありませんね。

| あ | ア | あ | 補助動詞 | 五段ラ | 語幹 |
| り | リ | る | 語尾 | 五段ラ | 連用 |

b. その他様々な形で敬語として用いられるものがある。主に動詞の連用形とサ変名詞に接続するが必ずとは限らない。

●お書きになった後、

| にな | ニナ | にな | 補助動詞 | 五段ラ | 語幹 |
| っ | ッ | る | 語尾 | 五段ラ | 連用 | つ音便 |

●それをお書きになりました、

| にな | ニナ | にな | 補助動詞 | 五段ラ | 語幹 |
| り | リ | る | 語尾 | 五段ラ | 連用 |

c. 「～になさる」の場合、「に(格助詞) + なさる(本動詞)」に分割する。

○どちらになさる

| に | ニ | に | 格助詞 |
| なさ | ナサ | なさ | 本動詞 | 特殊ラ | 語幹 |

○お大事になさってください。

大事	ダイジ	大事	形容名詞			
に	ニ	だ	助動詞	形容動詞	連用	
なさ	ナサ	なさ	本動詞	特殊ラ	語幹	
っ	ッ	る	語尾	特殊ラ	連用	つ音便

○御利用になさいます。

|に|ニ|に|格助詞|

|なさ|ナサ|なさ|本動詞|特殊ラ|語幹|

|い|イ|る|語尾|特殊ラ|連用|

d. サ変名詞に付く「する」「いたす」「できる」など。

●三泊滞在するんです。

|する|スル|する|補助動詞|サ変|連体|

(2) 「～がる」「～過ぎ」「～らしい」について

●わたくし寒がりなもんで

|寒|サム|寒|形容詞|形容詞|語幹|

|が|ガ|が|補助動詞|五段ラ|語幹|

|り|リ|る|語尾|五段ラ|連用|

●ちょっと高すぎます。

|高|タカ|高|形容詞|形容詞|語幹|

|すぎ|スギ|すぎ|補助動詞|一段|語幹|

●古都らしいたたずまいの～

|らし|ラシ|らし|補助動詞|形容詞|語幹|

|い|イ|い|語尾|形容詞|連体|

○風邪をひいたらしいんです。

|らし|ラシ|らし|助動詞|形容詞|語幹|

|い|イ|い|語尾|形容詞|連体|

4 語尾

認定基準

付属語。活用する。正規表現は五十音図のウ段の音で終わる。本動詞、補助動詞、形容詞、助動詞などの活用語の変化する部分。

(1) 本動詞の語尾

活用の種類は語幹部分と同じ。一段動詞の未然形と連用形の語尾は無い。

●ファックスを送ることはできない。

| 送 | オク | 送 | 本動詞 | 五段ラ | 語幹 |
| る | ル | る | 語尾 | 五段ラ | 連体 |

●東大寺の大仏をぜひ見るべきだと勧められた。

| 見 | ミ | 見 | 本動詞 | 一段 | 語幹 |
| る | ル | る | 語尾 | 一段 | 終止 |

●在んのかな

| 在 | ア | 在 | 本動詞 | 五段ラ | 語幹 |
| ん | ン | ん | 語尾 | 特殊 | 連体 |

(2) カ変動詞、サ変動詞「する」は不変化部分が無いので、語幹と語尾の区別をしない。
よって、語尾が無い。

●ここへ来なくていい

来	コ	来る	本動詞	カ変	未然
な	ナ	な	助動詞	形容詞	語幹
く	ク	い	語尾	形容詞	連用

●ニューヨークには何回も来てるから、

来	キ	来る	本動詞	カ変	連用
て	テ	て	助動詞	一段	語幹
る	ル	る	語尾	一段	終止

●今すぐポーターが来るということでお待ちしています。

| 来る | クル | 来る | 本動詞 | カ変 | 終止 |

●直接お伺いすればいいということですね。

|すれ|スレ|する|補助動詞|サ変|仮定|

|ばい|バヨ|ばよ|助動詞|形容詞|語幹|

|い|イ|い|語尾|形容詞|終止|

●それでは予約を願いします。

|し|シ|する|補助動詞|サ変|連用|

●そして鹿王院の駅で下車すということですね。

|する|スル|する|補助動詞|サ変|終止|

(3) 補助動詞の語尾

本動詞の語尾の原則と同じ。

●お客様のご希望を少々お聞かせいただけますか。

|いただけ|イタダケ|いただけ|補助動詞|一段|語幹|

●午前のコースでしたらお取りできます。

|でき|デキ|でき|補助動詞|一段|語幹|

(4) 形容詞の語尾

●大変色彩の美しいものでございます。

|美し|ウツクシ|美し|形容詞|形容詞|語幹|

|い|イ|い|語尾|形容詞|連体|

●オペラのほう、楽しくご観賞くださいませ。

|楽し|タノシ|楽し|形容詞|形容詞|語幹|

|く|ク|く|語尾|形容詞|連用|

(5) 助動詞の語尾

活用の種類は語幹と同じ。

●ツインの部屋に、移りたいのですけれども。

|た|タ|た|助動詞|形容詞|語幹|

|い|イ|い|語尾|形容詞|連体|

5 形容詞

認定基準

自立語。活用する。言い切る形は五十音図のイ段の音で終わる。述語になる。事物の性質や状態を表す。活用の種類は「形容詞」。

- 今夜一泊でよろしいですね。

| よろし | ヨロシ | よろし | 形容詞 | 形容詞 | 語幹 |

| い | イ | い | 語尾 | 形容詞 | 終止 |

- お料理を美しく器に盛りつけ、

| 美し | 形容詞 | 形容詞 | 語幹 |

| く | 語尾 | 形容詞 | 連用 |

(2) 形容詞っぽいものについて

- 天気が変わりやすいので

| やす | 助動詞 | 形容詞 | 語幹 |

| い | 語尾 | 形容詞 | 連体 |

- タクシーがつかまりににくいかもしれません。

| にく | 助動詞 | 形容詞 | 語幹 |

| い | 語尾 | 形容詞 | 終止 |

(3) -1 不規則な活用 (形容詞の語幹形)

形容詞「よい」「ない」には語幹が二つある。すなわち、「よ/よさ」「な/なさ」。

このうち「よさ」「なさ」は、ある種の助動詞(そうだ、そうです)がうしろにつく時に見られる形である。

活用の種類は「特殊」となる。正規表現は「良さ」「無さ」となる。

- その方がずっと良さそうですね。

| 良さ | ヨサ | 良さ | 形容詞 | 特殊 | 語幹 |

- 同じ大きさの机ですか

| 大き | オオキ | 大き | 形容詞 | 形容詞 | 語幹 |

| さ | サ | さ | 接尾辞 |

(3) -2 (特殊の例)

- 同室でよろしゅうございます。

|よろしゅう|ヨロシユウ|よろしゅう|形容詞|特殊|連用|

- ベッドとも大変、大きゅうございます

|大きゅう|オオキユウ|大きゅう|形容詞|特殊|連用|

(4) 形容詞派生の名詞

- エレベータにとても近くて、今晚、眠れそうもないんです。

|近|チカ|近|形容詞|形容詞|語幹|

|く|ク|い|語尾|形容詞|連用|

- それでしたら、お近く (普通名詞) でございます。

- とても人出が多く賑やかでございます。

|多|オオ|多|形容詞|形容詞|語幹|

|く|ク|い|語尾|形容詞|連用|

- ほかにももっと多く (普通名詞) の庭園を見る。

(5) 長単位の形容詞について

大辞林の見出し語にエントリーがあるものやATR辞書に登録されているものは、一語で形容詞とする。

- 興味深い展示がたくさんございます

|興味深|キョウミブカ|興味深|形容詞|形容詞|語幹|

|い|イ|い|語尾|形容詞|連体|

(6) 「といい」について

「いい」を他の形容詞に置き換えて文として成り立てば、「接続助詞/形容詞/語尾」とし、文として成り立たない場合は長単位の助動詞とする。

- 四条通りをご覧になるといいかと思います。→ とい (助動詞|形容詞|語幹) /い (語尾)

- 朝早く行かれるといい物があると思います。→ と (接続助詞) /い (形容詞) /い (語尾)

- 昼からの方がどっちかって言うといいな。→ と (接続助詞) /い (形容詞) /い (語尾)

(7) 「ない」について

●間違いなく。●ご存じない。●遠慮なく。●お差し支えなければ
| な | ナ | 無 | 形容詞 | 形容詞 | 語幹 |

○とらないでほしい。

| な | ナ | な | 助動詞 | 形容詞 | 語幹 |

6 副詞

認定基準

自立語。活用しない。用言を修飾する。

(1) 「副詞」の正規表現について

A T R 辞書内の副詞の正規表現の由来は、名詞起源で、その元の意味が残っているものは漢字表記、そうでないものはかな表記としていた。しかし、作業者が判断に迷う為、今後は大辞林の見出し語を正規表現とする。

〈かな表記をとるもの〉

あいにく あちこち あっさり あと あまり あらかじめ あんまり いかが いかほど
いくら いくらか いささか いったん いっぱい いつ いつでも いつまで(も)
いつもいまだ いろいろ うっかり うまく うろうろ えらく おそらく おって か
えって かつて かなり がんがん きちんと くらくら くれぐれも ぐっすり ぐっ
と ぐるっと こう こつん このまま このように ころころ こんなに さしあたっ
て さして さぞかし さっき さほど さらに しっかり しばしば しょっちゅう
じっくり すぐ(に) すぐく すっかり すべて ずうっと ずきずき ずっと せっか
く せめて ぜひ(に) ぜひとも そこら そのまま そのように それぞれ それほ
ど そんなに だいたい たいして たいそう たくさん ただ ただいま たっぷり
たぶん たまたま たまに だんだん ちょうど つい ついでに つまり できるだけ
とつても とつても とにかく ともに とりあえず どう どうか どうして どうして
も どうぞ とうに とうにか どうも どうやって どうやら どのくらい どのよう
に どれほど どんどん どんなに なお なかなか なるたけ なるほど のんびり
はっきり ぱっと ひどく ひよっしたら ひよっすると ぴったり ふんだんに
ぶらぶら ほとんど ほぼ ほうっと ままあ まず まずは また まだ まっすぐ
まったく みんな むしろ もう もうしばらく もうすぐ もうちょっと もし もし
かしたら もしかして もしかすると もしも もちろん もっと もともと やっぱり
やはり やや ゆっくり ゆったり ようこそ よく よくよく よほど より よろし
く わざわざ わずか

〈漢字表記をとるもの〉

改めて 案外 いい加減 幾分 以前 一応 一切 一斉に 一体 今更 今しばらく
因縁 多く 主に 折り返し 重々 重ねて 必ず 必ずや 仮に 極力 結局 結構
心から 心より この間 極 今後とも 最近 最高 最低 再度 先ごろ 先ほど 早
速(に) 至急(に) 実際 少々 若干 十分 常時 少し 少なくとも 既に 随時 随
分 絶対 全員 全然 全部 早急に 相当 即座に その際 その外 大抵 大半 大
変 確か 確かに 多少 直ちに たった今 例えば 度々 単に 大分 近々 逐一

直接 つい最近 通常 次々と 次々に 常に 当然 時々 特に 長年 何か 何しろ
何分 何も 何より 何だか 何で 何でしたら 何でも 何と言っても 何とか 何と
も 何なり 何なりと 何にも 何ら 念のため 念のために 後ほど 初め 初めて
比較的 引き続き 一際 普通別途 別に 本当(に) 前もって 誠に 正に 間もな
く 万一 万が一 昔ながら もう少々 もう少し 最も 約 優に 要は 割と

(2) 「こう」「そう」「ああ」「どう」について

「こう」「そう」「ああ」「どう」などに「して(も)」「やって(も)」が後続する
ので、本来の意味を失っているものは副詞とする。

●どうしても (副詞) 見たいんで。

○じゃ、そうして頂けますか。

そう／し／て頂け →副詞／本動詞／助動詞

(3) 複合副詞について

結合が密で分割しても意味のない表現は一語で副詞とする。

あらかじめ複合副詞を列挙するのは難しい。迷う場合は、下記の複合副詞一覧を参照す
ること。

〈複合副詞一覧〉

いい加減 いくら何でも いざという時 今しばらく 生まれながら うやむやのうちに
おおよそのところ お気の毒ですが 国を挙げて 心から 心ゆくまで 心より ご多分
にもれず 事と次第によっては さしあたって 少なくとも どうかすると とりあえず
取るものも取りあえず 何と言っても 念のため 念のために ひよっとしたら ひよっ
とすると ふんだんに 前もって 間もなく 万が一 耳をそろえて 昔ながら もうし
ばらく もう少々 もうすぐ もう少し もうちょっと もしかしたら もしかすると
ものの見事に

注

複合副詞を分割する場合

○もうすぐ左側にオーレというテニスショップがあります。

もう／すぐ → 副詞／副詞

「そこまで」は、文脈によって『副詞』の場合と『代名詞+格助詞』の場合がある。

(4) 特殊な表現について

会話に特有な言い回しで、「すみませんが」「恐れ入りますが」「失礼ですが」のように、文頭にきて文全体を修飾する挨拶的な表現がある。これらは、すべて副詞として一語登録する。

例：あいにくでございますが あいにくでございますけれども あいにくですが あいにくなんですけれども あいにくなんですが あいにくなんですけれども 残念ですが 残念ながら 失礼ですが 失礼ですけれども すみませんが すみませんけど すみませんけれども 申し訳ありませんが 申し訳ございませんが 申し訳ないのですが 申し訳ないんですが 申し訳ないんですけども 申し訳ないんですけれども

●申し訳ありませんが (副詞)、サウナとジムの方は宿泊の方に限らせていただいております。

●その間は申し訳ありませんが (副詞)、お外でお願いします。

(「申し訳ありませんが」を省略しても意味が通じる場合は一語で副詞)

・長単位の副詞を分割する場合について

副詞および「形容名詞＋助動詞」が前接する場合は分割する。

該当する長単位の副詞を省略すると意味が通じなくなる場合は分割する。

○いや、大変申し訳ありませんが、そのような特典はやっておりません。

申し訳ありません／が → 感動詞／接続助詞

(副詞が前接する場合は分割する)

○大変お手数かけて申し訳ありませんが、そちらでお願いします。

申し訳ありません／が → 感動詞／接続助詞

(「申し訳ありませんが」を省略すると意味が通じなくなる場合は分割する)

○非常に申し訳ございませんが、通常日本の新聞はお持ちしておりません。

申し訳ございません／が → 感動詞／接続助詞

(形容名詞＋助動詞が前接する場合は分割する)

(「申し訳ございませんが」は省略できない)

○わたし、十五日は十二時から予定が入っておりますので、申し訳ありませんけれども。

申し訳ありません／けれども → 感動詞／接続助詞

(5) 多品詞語について

副詞・形容名詞・普通名詞の多品詞語に助詞が接続した場合の判断基準。

<助詞「の」が接続している場合>

普通名詞 → 形容名詞 → 副詞 の優先順位とする。

- ★ 当分の間休養します。(普通名詞と副詞の多品詞語→普通名詞)
- ★ 突然のことで判断できない。(副詞だけしかない→副詞)
- ★ あまりの寒さに震え上がった。(形容名詞と副詞の多品詞語→形容名詞)
- ☆ あまりの毛糸で手袋を編む。(形容名詞の「あまり」とは、意味が異なる→普通名詞)
- ★ 一般の家庭。(普通名詞と形容名詞の多品詞語→普通名詞)

<格助詞「と」が接続している場合>

副詞 とする

- ★ いろいろとご面倒をおかけしました。(普通名詞と副詞の多品詞語→副詞)
- ★ ずいぶんと寒いところだ。(形容名詞と副詞の多品詞語→副詞)

<副詞と名詞の判断基準>

- ・ 「と」を削除すると意味が通じない → 普通名詞
- ・ 「と」を削除しても意味が通じる → 副詞

- なるべく全(普通名詞)と同じ部屋がいいんです。
- いつも(普通名詞)とどんな所が違うのですか。
- さっき(普通名詞)とおんなじフェリーなんで、
- 一番近く(普通名詞)となっております。

<格助詞「に」が接続する場合>

形容名詞 → 普通名詞 → 副詞 の優先順位とする。

- ★ 偶然に街で出会う。(形容名詞と副詞の多品詞語→形容名詞【「に」は助動詞】)
- ★ 遠くに出掛ける。(普通名詞と副詞の多品詞語→普通名詞【「に」は格助詞】)
- ★ 安静にしてください。(普通名詞と形容名詞の多品詞語→形容名詞【「に」は助動詞】)

(6) 「みんな」の見分け方

人を指すときは代名詞で、人以外の物をさす時は副詞とする。

●これはみんなお菓子ですか (副詞)

○いえね、みんなで一緒に行きたいものですから、 (代名詞)

(7) 「この」「その」「あの」「どの」のつく語について

格助詞を伴わずに副詞として用いる場合と名詞として用いる場合がある。「この、その、あの、どの」が物をさしていない場合は副詞とする。

●ありがとうございます。このまま待った方がよろしいですか。 (副詞)

○部屋はこのままがいいんですけど。 (普通名詞)

(8) ATR辞書、『大辞林』にエントリーされていない副詞について

用言を修飾し、副詞以外に該当する品詞のない語は 確認を取り登録する。

●できるだけ安い部屋がいいんですが。

(9) 『副詞。』で文が終わるとき。

感動詞になる場合が多い。

○いつでもどうぞ。 (感動詞)

●どうぞ (副詞)、よろしく申し上げます。

(10) 「一番」「一度」について

副詞としての意味を持つ語であっても「数詞+接尾辞」に分割する。

○それが一番安い値段なんですよね。

一／番 → 数詞／接尾辞

(1 1) 「また」の判断方法について

1. 「または」に置き換えられる文と文をつなぐ語は接続詞

○一部屋は洋室になってしまうんです。また (接続詞)、十五日に關しましては…

2. 「再び」「更に」に置き換えられる場合は副詞

●九時よりもかなり遅れるようであれば、また (副詞) フロントの方に連絡いただけますか

●先ほどお話ししていたエキストラベッドというのはまた (副詞) 別料金になるんですか。

3. 助詞が接続する場合は普通名詞

○また (普通名詞) のお越しをお待ちしております。

(1 2) 「ただ」の判断方法について

・副詞・・・「単に」におきかえられる場合。

・接続詞・・・「しかし、でも」におきかえられる場合。

7 連体詞

認定基準

自立語。活用しない。単独で連体修飾語としてだけ用いられる。

正規表現は原則としてひらがなとする。例外：大きな、小さな、当、例の

例 あの、あらゆる、ある、いろんな、いわゆる、大きな、おもだった、こういう、この、このような、こんな、そういう、そういった、その、そのような、そんな、たいした、小さな、ちょっとした、当、とんだ、どういう、どういった、どの、どのような、どんな、ほんの、例の

(1) 「こう、そう、ああ、どう」について

「こう、そう、ああ、どう」に「いう、いった、した」などがつくものは、すべて一語で『連体詞』とする。

● そういう (連体詞) サービスは行っておりません

● どういった (連体詞) ことでしょうか

(2) 連体詞になりそうでならないもの

助動詞「たる」が接続する語は形容名詞と助動詞に分割する。

○現段階では確たることは申し上げられませんが。

| 確 | カク | 確 | 形容名詞 |

| た | タ | た | 助動詞 | 形容動詞 | 語幹 |

| る | ル | る | 語尾 | 形容動詞 | 連体 |

8 接続詞

認定基準

自立語。活用しない。主語、述語、修飾語のどれにもならず、独立語として文と文、句と句をつなぐ。正規表現は原則としてひらがなとする。例外：同じく、実は

(1) 「だ」「です」が文頭にきて全体として接続詞的な働きをする表現は、一語で「接続詞」とする。これは丁寧体でも同じ。

- ですから十七日に関しましては、和室ワンルームに三名様ご一緒のお部屋でお願いしたい～
- ですけれど、洗濯物ができあがってる時間には部屋にいなければいけませんか。

(2) 「こう」「そう(そ)」に関しても、以下の形で文頭に現れるものは「接続詞」とする。

- そうしましたら、九月の十四日から、二泊で、シングルルーム二部屋でご用意させて～

(3) 引用の助詞「と」をふくむもので、文頭にきて接続詞の働きをするものがある。これも全体を一語として「接続詞」とする。

- というのも、帰りがいつになるか、まだちょっとはつきりしていませんので。
- といっても四人しかおりませんので、そんな大きな部屋じゃなくても大丈夫です。
- とおっしゃいますと、なにかお魚に替わるものがよろしいんでしょうか。
- 住所の方が、京都府、相楽郡、精華町光台、二の二。それで電話番号の方が、零七七四九の、五の一三零一になります。

9 感動詞

認定基準

自立語。活用しない。主語、述語にならない。感動・呼びかけ・応答・挨拶を表し、独立性がある。正規表現は原則としてひらがなとする。

例外: 申し訳ありません、申し訳ない、申し訳ございません

(1) 「そうですねえ」のような表現が、本来の意味を失って感動詞として用いられることがある。

● そうですねえ (感動詞)。やはり代表的な名所巡りといえば奈良公園でしょうか

○ はい、そうですねえ。→ そう / で / す / ねえ
副詞 / 助動詞 / 語尾 / 終助詞

(2) 感動詞に助動詞・補助動詞や終助詞がついたものも、一つで『感動詞』とする。
文末に出現した時は感動詞、文中で出現した時はその他の品詞とする。

● ありがとうございます。

● いらっしゃいませ。

● ごめんね。

● すみませんでした。

● はい、ありがとうございました、お氣をつけて (感動詞)。

○ それではお氣を付けてお越し下さい。→ お (接頭辞) / 氣を付け (本動詞) / て (接続助詞)

● お待たせいたしました、札幌グランドホテル、予約係でございます。

(電話での第一声の場合)

○ ~のお待ち下さい。お待たせいたしました。→ お / 待 / た / せ / いた / し / ま / し / た
(前文に「~のお待ち下さい。」があれば感動詞としない。)

● これは失礼しました。

○ シーザーサラダっていうのは、これは何なんですか。→ これ (代名詞) / は (係助詞)

● それは良かったです。

○ それはツインルームですね。はい、ツインのお部屋でございます。→ それ(代名詞)/は(係助詞)

● はい、どうぞ。

○ どうぞ (副詞) よろしく。

● そう。

○ そう (副詞)、残念ねよろしくゆっというて

10 間投詞

認定基準

自立語。活用しない。主語・述部にならない。言いよどむ場合などに、文の中に挿入されて用いられる。間投詞を取り除いても文の文法性および意味には影響しない。

例 あ、あー、あの一、えー、えっと、えーっと、その一、ちょっと、で、まあ

(1) [] 内の言葉は、一つで間投詞とする。又、[] 外に間投詞と品詞づけする物はない。

- [えーとですね] ツインのお部屋が、二日とも～

間投詞

- [あー] そうなんですか。

間投詞

(2) 読点がある時は切る。

- [はい、はい] → はい / 、 / はい
間投詞 / 記号 / 間投詞

1 1 助動詞

認定基準

付属語。活用する。用言や他の助動詞に付いて、いろいろな意味を加えて叙述を助ける。
文末のムードを表す助動詞は分割せずに一語で助動詞とする。
許可・禁止・当為・提案・意志・概言などの意味がある。

(1) 主な助動詞とその一般例について

<使役>

せる … 字を書かせる
させる … テストを受けさせる

<受け身・可能・自発・尊敬>

れる … 思い出される (自発)
られる … 助けられる (受け身) 先生が来られる (尊敬)

<打消>

ない … 花はまだ咲かない
ぬ(ず) … まだあきらめぬ

<希望>

たい … 山に登りたい

<推定>

らしい … 海はおだやらしい

<様相>

そうだ … 雨が降りそうだ

| そう | ソウ | そう | 助動詞 | 形容動詞 | 語幹 |
| だ | ダ | だ | 助動詞 | 形容動詞 | 終止 |

<伝聞>

そうだ … 彼は行ったそうだ

| そう | ソウ | そう | 助動詞 | 形容動詞 | 語幹 |
| だ | ダ | だ | 助動詞 | 形容動詞 | 終止 |

<不確かな断定例示>

ようだ … まるで絵のようだ (たとえ) 彼も行ったようだ (不確かな断定)
彼の正確さは機械のようだ (例示)

|よう|ヨウ|よう|助動詞|形容動詞|語幹|

|だ|ダ|だ|助動詞|形容動詞|終止|

<断定>

だ … あれが学校だ

<ていねい>

ます … 私が読みます

<ていねいな断定>

です … それは私の本です

<過去・完了・存在>

た … 六時に起きた (過去) 今すんだ (完了) すぐれた作品 (存在)

<推量・意志>

よう … 仕事をしよう (意志)

う … それで良いだろう (推量)

<打消の推量・打消の意志>

まい … 雨は降るまい (推量) どこへも行くまい (意志)

(2) ムードを表す長単位の助動詞について

許可、禁止、当為、提案、意志、概言などの意味を持つ文末の助動詞は分割せずに一語で助動詞とする。

<許可>

たっていい、ってもけっこうだ、て(も)かまわない、でもかまわない、てもかまいません、でもかまいません、て(も)けっこうだ・です、で(も)けっこうだ・です、て(も)さしつかえない、て(も)さしつかえありません、で(も)さしつかえありません、で(も)さしつかえない、て(も)よろしい、で(も)よろしい

<禁止>

たらだめだ・です、ちゃいけません、てはだめだ・です、てはならない、ではならない、てはなりません、ではなりません、ないでください、なきゃだめだ・です、

<当為>

本来的特徴(当為)を表すことを基本とする。

実現していない事態に関しその事実が望ましいという意味を表す。

ことだ・です、ざるをえない、ざるをえません、てはいけない、てはいけません、てはいけません、ではだめだ・です、ないといけない、ないといけません、なきやいけない、なきやいけません、なきやなんない、なくちゃいけない、なくちゃいけません、なくてはいけません、なくてはいけない、なくてはいけません、なくてはだめだ・です、なくてはならない、なくてはなりません、なければいけない、なければいけません、なければだめだ・です、なければならぬ、なければなりません、にはおよばない、にはおよびませんねばならない、ねばなりません、べきだ・です、ほうがよい、ほうがよさ、ほうがよろしい、ほうがよろしゅう、よりほか(は)ありません、よりほか(は)ない、わけに(は)いかない、わけにはいきません、

<提案>

たらよい、ばよい、ばよろしい、ばよろしゅう

<概言>

真とは断定できない知識を述べる。

一般的な知識や記憶から推論、計算などの論理的操作によって得られる帰結を述べる。かもしれない、かもしれない、かもわからない、かもわかりません、とのことだ・です、にちがいない、にちがいありません、はずだ・です、はずがありません、はずがない、

<様相>

物事のありさま。状態。光景。

そうだ・です、つもりだ・です、ところだ・です、ばかりだ・です、みたいだ・です、ようだ・です

(3) 接続助詞「て」に補助動詞が接続する場合

接続助詞「て」に補助動詞が接続する場合は一語で助動詞とする

- ホテルの予約を取っていただけますか。
- もうすでにとってあります。

(4) 「やすい」「にくい」「づらい」「がたい」について

本動詞、補助動詞に接続する場合は助動詞とする

- 休日前はキャンセルが出にくい状態です。

●初めての方でも利用しやすいと思いますよ。

(5) 「ちゃう」について

活用語に接続する場合は助動詞とする

●混乱しちゃいました。→ ちゃ/い

| ちゃ | チャ | ちゃ | 助動詞 | 五段ワ | 語幹 |

| い | イ | う | 語尾 | 五段ワ | 連用 |

(6) 助動詞の「で」について

「○○はで◎◎は…です」の表現で用いられた場合は助動詞とする。

「で○○は…です」のように最初の「は、が」が省略されていても後ろに「は、が」が接続していれば助動詞とする。

●カードはビザで、番号が1 2 3の3 4 5です

| で | デ | だ | 助動詞 | 形容動詞 | 連用 |

●黒のウォークマンでケースがグレー、

| で | デ | だ | 助動詞 | 形容動詞 | 連用 |

(7) 「なら」について

活用語に接続する場合は接続助詞、それ以外は助動詞「だ」の假定形とする。

●四時半までなら大丈夫です。

| なら | ナラ | だ | 助動詞 | 形容動詞 | 假定 |

○予約されるなら (接続助詞)、お伺いします。

(8) 過去の意味をもつ助動詞「だ」について

本動詞、五段、連用形の音便に接続する場合は助動詞「た」が変化した語である。

●日本の有名な哲学者がその道を好んだことから、そのように言われます。

| だ | ダ | た | 助動詞 | 特殊 | 連体 |

(9) 助動詞「じゃ」について

助動詞「じゃ」は助動詞「で」と係助詞「は」の融合形である。

●しかたないんじゃないですか。

| じゃ | ジャ | じゃ | 助動詞 | 無変化 | 連用 |

(10) 口語的表現によって変化した助動詞について

「てる」「でる」は一語で助動詞とする。

- 窓から景色を見てるんですが、→ て／る（「見ている」が変化した語）

|て|テ|て|助動詞|一段|語幹|

|る|ル|る|語尾|一段|連体|

- 庭園を含んでるんです。→ で／る（「含んでいる」が変化した語）

|で|デ|で|助動詞|一段|語幹|

|る|ル|る|語尾|一段|連体|

(11) 「である」「でない」「でございます」の「で」について

助動詞「だ」の連用形である

- はい、フロントでございます。→ で／ございま／す

|で|デ|だ|助動詞|形容動詞|連用|

|ございま|ゴザイマ|ございま|補助動詞|特殊サ|語幹|

|す|ス|す|語尾|特殊サ|終止|

- 安くご利用になりたいという事であれば、シングルの方をおすすめいたします。

→ で／あ／れ

|で|デ|だ|助動詞|形容動詞|連用|

|あ|ア|あ|補助動詞|五段ラ|語幹|

|れ|レ|る|語尾|五段ラ|仮定|

- 和室でなくても空いてましたらそこを予約しますので、お願いいたします。

→ で／な／く

|で|デ|だ|助動詞|形容動詞|連用|

|な|ナ|な|助動詞|形容詞|語幹|

|く|ク|い|語尾|形容詞|連用|

(12) 「らしい」（補助動詞）と（助動詞）の違いについて

補助動詞：名詞にだけ接続する。

意味「～の特質をよく表している」

e x. 京都らしい料理

助動詞：主に活用語に接続するが、時に名詞に接続することもある。

意味「～のようだ、～だそうだ」

e x. 連れの者が風邪らしく～

1 2 助詞

認定基準

付属語。活用しない。語と語の関係を示す。

格助詞、準体助詞、係助詞、副助詞、並立助詞、接続助詞、終助詞、引用助詞、連体助詞から構成されている。

1 2 - 1 格助詞

名詞及び名詞句に後接して、それが他の語とどういう関係にあるか示す。

正規表現は原則としてひらがなとするが複合格助詞は例外を認める。

例 から、が、じゃ（じゃあ）、で、と（と、て、って）、に（ん）、にて、の、へ、までより、を

- 午前十一時三十分から午後三時までです。
- 係の者ががそちらに伺います。
- 十月十日っていやあ日本じゃ体育の日なんですけどねえ。
(格助詞の「で」におきかえられる)
- お部屋でお待ちになってください。
- ホテルの中に在る美容院で、髪をカットしたいんです。
- フロントにてお預かりしております。
- とても人気あるコース (格助詞の「が」におきかえられる)
- 京都駅を經由しホテルへ到着します。
- 本日は午前十時より午後五時まで、開館しております。

(1) 複合格助詞一覧

でもって、として、と共に、に当たって、において、に限り、に限って にかけて、に
関して、に際して、にしろ、にせよ、に対して、について、につき、にとって、によって、
により、にわたって、の際に、のために、をおいて、をして、を通じて、を通して、をも
って

(2) 複合格助詞 (丁寧体) 一覧

といたしまして、としまして、に当たります、におきまして、に限りまして、にかけ
まして、に関しまして、に際しまして、に対しまして、につきまして、にとりまして、に
よりまして、をおきまして、を通じまして、を通しまして、をもちまして

注

以上の他に、新たに『格助詞』としたい連語が出現したときは、
そのつど『マニュアル』に追加する。

確認し

1 2 — 2 準体助詞

述語句や連体句を、名詞化する働きを持つ「の」「ん」は準体助詞とする。
普通名詞「もの」などに置き換えても意味がとおる。

例 の (ん, のん)

- パーティーの方は部屋代というのはかかるのでしょうか。
- お子様の好きなお肉料理やフルーツをたくさん入れてあります。
格助詞（「が」におきかえられる時は格助詞）
- 恐らく、お探しはきものも、見つかるのではないでしょうか。
連体助詞 準体助詞
- 利用いただきますのに一時間二千元～
- 朝食は、先ほどのと別料金になりまして、
- 到着したのが早かったので
- 隣の部屋がうるさくて困ってるんです。
- とにかくうるさいんです。
- そういうことはできないんでしょうか。
- チェックインは何時からんでしょうか。

1.2-3 係助詞

種々の語に後接して、それが文及び文章中で主題として働くことを示す。

例 ったら、って(て)、は、も、や

- そちらで予約はできますか。
- トークンってなんですか。
(係助詞の「は」におきかえられるもの)
- 今回もお願いしたいんですけども。
- 広すぎやしませんか。

1 2 — 4 副助詞

種々の語に後接して、様々な補助的な意味を添え、主として連用修飾語を作る。

例

か(かあ)、かと、きり、くらい(ぐらい)、こそ、ごと、さえ、しか、しも、すら、ずつ(づつ)、ぞ、たりとも、だけ、だって、っていやあ、でも、とう、とか、など、なり、なんか、なんて、のみ、ばかり(ばっか、ばっかり)、ほど、まで、やら

- 一人当たり一万円か、ちょっとそれを越えるくらいなんですけども。
- だいたい二十四ドルかと存じますが
- 一時ぐらいには店を出たいんですけれども、大丈夫でしょうか。
- こちらこそ、ありがとうございました。
- 十五分ごとに運行しております。
- 電車の乗り換えさえうまくいけばいいんですけどね。
- 二百メートルほどしか離れてませんし
- お一人様当たりに二ドルずつ、二時間ずつというふうになっております。
- ちょっと聞いただけなんです。
- 十月十日っていやあ日本じゃ体育の日なんですけどねえ。
- 明日の午後にでも伺います。
- ほかにご質問とう、ございませんか。
- そちらの宴会場は会議などにも使えるんでしょうか。
- もう一方はサイン会なりに、お使いいただいて結構ですが。
- 島めぐりなんかができればいいですね。
- また着替えて移動するなんていやですよ。
- 大阪行きのみということで。
- 仕事に必要な物ばかりでしたので。
- お時間は二時間ほどでお願いしておりますけれども
- いいえ、そこまでするつもりはありません。

(1) 副助詞「でも」と格助詞「で」+係助詞「も」に切る場合の認定基準と一般例について

- ・「だけ」に後続する場合は副助詞。
★あなたただでも来て下さい。
- ・不特定を表す語に後続する場合は副助詞。
★何でも知っているんですね。
- ・軽い例示の場合は副助詞。
★犬でもできるでしょう。
- ・極端な例を挙げて他を類推させる場合は副助詞。
★あのおじいさんなら富士山でも登れますよ。
- ・副助詞「でも」と、格助詞「で」+「も」との差異

※ 「でさえも」と言い換えても意味が不変な時には副助詞とする。

これに対して「ドルでもいいですか」や「小切手でもお支払いできますか」の「でも」は「でさえも」の意味が付加されているとは考えがたい。むしろ「ドルでもいいですか」「小切手でお支払いできますか」の「で」に「も」（係助詞）が付いていると思う方が自然であると思われる。一般に道具や場所、手段に接続する場合には「で」+「も」と認定する。（迷う場合には「も」をとっても意味が通じれば格助詞「で」+係助詞「も」と認定する方を優先する。）

★ドルでもいいですか。→ で/も
格助詞/係助詞

(2) 副助詞「とか」と並立助詞「とか」の認定基準と一般例について

- ・前に「例えば」をつけて意味が通る場合は「並立助詞」とする。
★毎日、掃除とか洗濯とか（並立助詞）食事の支度とかに追われ・・・
★時々は散歩するとか運動するとか（並立助詞）した方がいい。
- ・後に「だそうです」や「聞いている」をつけて意味が通る場合は「副助詞」とする。
★あの人の祖父は今も達者で、九十いくつとか（副助詞）だそうです。
★山本さんは具合が悪く、寝たつきりだとか（副助詞）聞いている。

1 2 — 5 並立助詞

種々の語に後接して、対等の名詞句・述語句を作る。

例 か、たの、たり、だの、だり、と、とか、なり、や、やら

- 夕食は懐石料理か寄せなべのものがございます。
- 交換してもらったり、返品してもらったりすることがあったときに～
- お日にちと、お時間をお願いいたします。
- 特に見たい建物なりテーマなりはございますか。
- お子様の好きなお肉料理やフルーツをたくさん入れてあります。
- こちらにお泊まりですか（終助詞）、それとも
（問いかけている時は終助詞）

○個人旅行でいらっしゃいますか（終助詞）。

- 十一日とですね、十二日にしたいんですよ。

（*「とか思う」の「とか」は引用助詞）

- 衣装代とか撮影料合わせて、一人五十ドルまででいけますか。
- ピーナツとか、例えばおかきとか。
- 覚えてないんですけども、ちお何とかとか、じお何とかって言ったと思う。

何とか（普通名詞） とか（並立助詞） 何とか（普通名詞）

格助詞の「と」と並立助詞の「と」の見分け方

- ・「と」を他の並立助詞、たとえば「や」「とか」などをおきかえてあまり意味が変わらなければ並立助詞、意味が変わる（あるいは意味がなくなる）ようなら格助詞とする。

- 北嶋さんと（並立助詞）他にもいらっしゃいますか→北嶋さんや他にもいらっしゃいますか

○先生と（格助詞）相談する。→先生や相談する。

○友人と（格助詞）会社を作る。→友人や会社を作る。

1 2 — 6 接続助詞

活用する語に付いて、その語と後にくる語との関係を示す。

例

あげく、あげくに、おかげで、から、が、がてら、がゆえに、くせに、けど、けども、けれど、けれども、し、しだい、じゃ、せいで、たって、たり、だけあって、だけに、だって、だら、だり、ちゃ、って、っても、つつ、て、ても、で、でも、と、ところ、ところがところで、としたら、として、としても、としましたら、としましても、とすると、とすれば、とたんに、とともに、とも、どころか、ながら、なら、なり、にしたがい、にしたがって、につれて、にもかかわらず、ので(んで)、のに、ば、まま(まんま)、ままで、もので(もんで)、ものですから(もんですから)、ものなら(もんなら)、ものの(もんの)、ものを、やいなや、わりに

(1) いくつかの語で構成される句が、全体として接続助詞のような働きをすることがある。このような表現は、全体を一語として『接続助詞』とする。

(a) 時間的關係

- お伺いしたところ、多分サーモスタットの故障だと思います。
- 郵便物が届き次第、電話をさしあげるとともに、転送させていただきます。

★家に帰るやいなや

★時がたつにつれて

(b) 順接条件

★もしその説が正しいとすれば

- 雨が降ってるんですか。外は見てなかったものですから。

(c) 逆接条件

★反対があつたにもかかわらず

- 出発されるとしても十分時間が～

(2) 「じゃ」について

融合形「では」が変化したもの。本動詞・五段・連用形・音便形に接続する。

★いくら金をためても死んじゃ何もならない。→ 接助

(3) 連語の接続助詞一覧

新たに『接続助詞』としたい連語が出現したときは、そのつど『マニュアル』に追加する。

(a) 時間的關係

あげく(に)、ところ(が)、とたんに、にしたがい、にしたがって、につれて、ままで

(b) 順接条件

おかげで、がゆえに、せいで、だけあって、だけに、ところが、としたら、として、としましたら、とすると、とすれば、もので、ものですから、ものなら、やいなや

- タクシーで行くとしたらどれくらい時間がかかりますか。
- エキストラベッドを付けたとして、おいくらになりますか。
- バスで行かれるとしましたら、近鉄奈良駅から東大寺のバス停まで大体十分～
- 忘れたとすると、多分その部屋だ。
- ちょっとバックにないもので。
- 楽しみにしているものですから。

(c) 逆接条件

くせに、といっても、ところで、としたって、としても、どころか、にもかかわらず、としましても、のに、わりに、

- お昼頃に出発されるとしても十分時間がありますね。
 - 音は聞こえるのに、画像がまったく映らないんですよ。
- 利用いただきますのに、受付は午後九時までに → の / に
準体助詞 / 格助詞
- 料理が終わったとしましても、こちらの方からお茶とデザートを～
 - きょう行っても大丈夫ですね。

○立ち往生とは思ってもい(本動詞)ませんでした。 → て / も
接続助詞 / 係助詞

・「ても(接続助詞)」は二つの文を結び付けるもので、『立ち往生とは～』は二つの文に分けることができない。「思ってもいませんでした」はひとつづきの述語なので、「ても」を接続助詞とするのは具合が悪い。大辞林では、接続助詞「て」に係助詞「も」が付いて連語になったものとしているが、「連語」という品詞は認めていないため「て(接続助詞) / も(係助詞)」にする。

1 2 — 7 終助詞

文の終わりに位置して、話し手の気持ちを表す。

例 い、か (かあ)、かしら、こと、さ、ぜ、ぞ、つけ、って、とも、な、なあ、ね、ねえ (ねえ)、の、もの、ものか、もん、もんか、や、やら、よ、わ

注

ただし、「の」は「どこから来たの」のように単独で表れる場合のみ終助詞とする。「のだ」「のです」「のか」という連鎖の中では準体助詞とする。

- お願いできますか。
- 自分で取らなきゃだめかしら。
- おいくらでしたつけ。
- 高いんですって。
- ええ、もちろんですとも。
- じゃあどうしようかな。→ か / な
終助詞 / 終助詞
- それは困ったなあ。
- ジョン・フィリップス様で、よろしゅうございますね。
- ちょっと早すぎますねえ。
- 値段はいくらなの。
- ということでございますものね。→ もの / ね
終助詞 / 終助詞
- よりしかたないですもんね。→ もん / ね
終助詞 / 終助詞
- それがいいや、じゃあそれ予約取ってもらえますか。
- あんまり急ぎたくないんですよ。
- お願いするわ。
- ワシントンに着くのは、夜の七時過ぎぐらいかな。→ か / な
終助詞 / 終助詞
- ニューヨークのどこかにきつとあるんじゃないかなと思うんですけど。→ か / な
引用助詞 / 終助詞

1 2 — 8 連体助詞

格助詞から独立したもの。連体修飾する。

例 って(て)、という(っという, っとう, とゆう, っていう, ってゆう, ていう)、
といった、にあたっての、における、に関する、に際しての、に対する、についての、
とっての、による、にわたる、の(ん)、のための

前の語(名詞類)が後の語を連体修飾する時の間の語を連体助詞とする。
したがって、連体修飾されるもの(後の語)も名詞類でなければならない。

(1) 「の」の連体助詞について

「の」には、連体助詞、準体助詞、格助詞、終助詞があることに注意。
格助詞の「の」と連体助詞の「の」との見分け方は、
『「が」や「を」と入れ換えられるものは格助詞と考える』とする。

- 五〇八号室の(連体助詞) 鈴木です。
- 部屋代というの(準体助詞) は
- とても人気の(格助詞) あるコース
- 値段はいくらなの。(終助詞)
- 大人二人の子供二人です。
- 今現在和室のみの空きですので～
- 恭子は、恭しいの恭です。
 ↑ 終止形
- あきらめるしかないってことですねえ。
- それから、バスや電車といった、乗り物にも～
- はい、ビジターとしてのご利用でございます。
- チェックアウトの時間に関する情報をいただき～
- やはり建築物に対する趣味を深められる～
- 器具の使い方についての説明書がございます。
- 交換のための手数料とかそんなものはかかりますか。

(2) 「という」について

「大阪城の近くというと. . .」の場合、「という」に接続する「と」は接続助詞なので、「という」は連体助詞ではない。この場合の「という」は「と（引用助詞）／い（本動詞）／う（語尾）」となる。

「という」の前後に体言もしくは体言扱いの語が接続する場合は連体助詞となる。

3. 電話番号、住所名について

電話番号、住所名を呼ぶ場合の「五四の七六三二」などの「の」も連体助詞とする。

1 2 — 9 引用助詞

引用している時に用いる。活用語または形容名詞に接続する場合が多い。

例 か、かと、かどうか、と（って）、とか、のか

(1) 節をとる場合を引用助詞とする。(名詞類をとるときは格助詞とする)
「か」引用助詞は「かどうか」や「のか」に言い替えられる場合が多い。

- 宿泊パックというのが有ると(引用助詞)聞きました。
- 鈴木直子と(引用助詞)申します。
- 今、どのくらいこんでいるか教えてください。
- 空いているかどうかみてもらえますか。
- 何とかなるかと存じますけれども。

(2) 「～と(思う)(存じる)」の「と」は無条件で引用助詞とする。

- 午後一時には終わると(引用助詞)思います。
- お部屋を移っていただくことになるかと(引用助詞)存じますが

(3) 「か」を含む助詞について

- どんな催し物があるのか、それを知りたくてお電話したんですよ。
- それで結構かと思えます。(用言・形容名詞に接続する場合)

○ どちらかと言うと(「かと」は副助詞(体言に接続する場合))

(4) 名詞類に接続する「と」について

「名詞類+と+(申す)(言う)(おっしゃる)」の「と」は引用助詞とする。

- イトウマリコと(引用助詞)申します。
- こちらミストコースと(引用助詞)言うんですが
- 赤い手帳と(引用助詞)おっしゃいましたけれども

1 3 接頭辞

認定基準

接頭辞は一覧に挙げられたもの以外は認めない。

ただし、接頭辞に直接接尾辞がつくものは接頭辞、接尾辞を合わせて一語の普通名詞とする。例 何人、何回、前線、数センチ

《接頭辞一覧》

名詞類に先行するもの	
あ	相／向かい、悪／趣味、お／名前
か	各／講師、貴／学会、旧／体制、軽／犯罪、現／地点、高／画質、御／住所
さ	再／入会、最／先端、諸／制度、小／家族、新／製品、真／犯人、重／工業、準／会員、純／文学、助／教授、素／裸、正／会員、前／市長、全／予算、総／収入
た	他／業種、短／時間、大／ホール、中／規模、超／LSI、長／時間、低／次元、同／機種
な	何／種類
は	反／体制、非／公式、不／参加、副／首相、本／会議
ま	毎／日曜、丸／裸、未／記入、無／理解、元／議員
ら	両／外人

数詞に先行するもの	
あ	お／一人、おおむね／六割、およそ／七人
か	各／四名、御／一通
さ	数／万円、全／五巻

た	第／三回、大体／九本
な	何／千人
は	ほぼ／六合
や	約／四百人

用言類に先行するもの

あ	お／聞かせする
は	ぶっ／倒す

※ATR辞書にないが、形態素データに出現した時点で登録する。

・初／対面 ・幾／千年 ・真／黒い

1. 固有名詞の中に接頭辞を含む語については一語で固有名詞とする。

ex. フェスティバル大ホール (固有名詞)

ただし、以下のような場合は接頭辞と固有名詞に分割する。

ex. 各ATR職員 → 各 (接頭辞) / ATR (固有名詞) / 職員 (普通名詞)

1 4 接尾辞

認定基準

接尾辞は一覧に挙げられたもの以外（数字に接続する単位は除く）は認めない。

《接尾辞一覧》

名詞類に付くもの	
あ	佐藤／あて、一／箱／当たり、実施／案、東京／行き
か	ユリ／科、秘書／課、最終／回、会計／係、先生／方、範囲／外、中華／街、 高速／型、伏し目／がち、政府／側、国際／級、入会／金、製造／業、鈴木／君、 銀河／系、ロケット／形 ⁵ 、合格／圏、司法／権、ゴルフ／コース、晩秋／ころ、 弁慶／号
さ	救済／策、鈴木／様、鈴木／さん、鈴木／氏、都会／式、参加／者、保護／色 ³ 、 出席／者、手続き／上、入金／済み、君主／制、可能／性、本革／製、国際／線 ² 、 街道／沿い、暴走／族
た	自分／たち、ホテル／代、実物／大、消防／団、東京／着、鈴木／ちゃん、 期間／中、支店／長、朝食／付き、絵画／展、注意／点、青山／通り、 両方／とも、鈴木／殿、私／ども
な	ホテル／内、世間／並み
は	主流／派、大阪／発、普及／版、参加／費、往復／便、東洋／風、営業／部、 団体／別
ま	世紀／末、研究／棟、金銭／面
や	交換／用、国家主義／寄り
ら	学生／ら、先日／来、自己／流、参加／料、指導／力、機器／類、観念／論

数詞に付くもの

あ	三／案、三／インチ、三／円
か	三／か（月）、三／日 ¹ 、三／回、三／階【か、がい】、三／株、三／缶、 三／間 ⁴ 、三／掛け、三／ガロン、三／基、三／期、三／球、三／級、三／キロ 三／キログラム、三／キロメートル、三／行、三／口、三／組、三／グラム、 三／桁、三／件、三／軒、三／個、三／戸、三／コース、三／校、三／国、 三／語、三／号
さ	三／歳、三／冊、三／紙、三／シーシー、三／室、三／品、三／社、三／車、 三／首、三／周、三／週、三／勝、三／色、三／食、三／字、三／次、三／時間、 三／十【ジュウ、ジュウ】、三／重、三／畳、三／錠、三／筋、三／世紀、 三／千【セン、ゼン】、三／線、三／センチ、三／センチメートル、三／センチ、 三／セント、三／層、三／足
た	三／反、三／代、三／台、三／段、三／着、三／丁、三／丁目、三／つ、三／通、 三／月 ¹ 、三／坪、三／手、三／店、三／党、三／島、三／棟、三／等、 三／頭、三／通り、三／度、三／ドル
な	三／日 ¹ 、三／人、三／年
は	三／敗、三／杯【ハイ、パイ】、三／泊【ワ、パク】、三／発、三／版、三／倍、 三／番、三／番地、三／パーセント、三／票、三／品【ヒン、ピン】、 三／百【ヒャク、ビャク、ヒョク】、三／秒、三／便、三／匹、三／フィート、 三／分【フン、ブン、ポン】、三／部、三／ブロック、三／遍【ヘン、ペン】、三／ページ、 三／ホール、三／本【ホン、ボン、ポン】、三／ポンド
ま	三／枚、三／マイル、三／万、三／ミリ、三／棟、三／メーター、 三／メートル、三／名、三／面、三／目
や	三／ヤード
ら	三／ラウンド、三／ランク、三／人、三／リットル、三／列
わ	三／割

用言類に付くもの

うれし／げ
静け／さ
ほめ／っぱなし
言いたい／放題

接尾辞に付くもの

あ 一人／頭、一日／当たり、四人／あまり、一週間／置き
か 三日／間、六語／外、七年／型、四人／強、三か／月、五割／減、一時間／後
さ 一名／様、三か／所、五日／弱、二年／生、三号／線
た 四人／足らず、三階／建て、四時／着、四枚／中、二食／付き、二人／連れ、
三人／とも
な 六語／内
は 四時／発、五割／引、四食／分
ま 三日／前、五割／増し、九日／目、講演者／名、参加者／用

住所名に付くもの

世田谷／区、相楽／郡
東京／都
大阪／府、

- 1 意味的に～日間をあらわしている場合のみ
- 2 交通網に限る
- 3 黄色、青色、褐色など色目をあらわしているものは分割しない
- 4 長さの単位の場合
- 5 幾何図形以外（幾何図形は一語で名詞）

* ATR辞書にはないが、形態素データに出現した時点で登録する語。

・三 | 誌

1. 数詞の後に付く接尾辞を接尾辞につく接尾辞として認める。

e x. 三千回 → 三 (数詞) / 千 (接尾辞) / 回 (接尾辞)

2. 固有名詞の中に接尾辞を含んでいる語は分割せずに一語で固有名詞とする。

e x. 横浜中華街 (固有名詞) で夕食を食べる。

3. 数詞に付く接尾辞が名詞類 (数詞を除く) についたときは接尾辞と認めない。

e x. 新聞紙 (普通名詞)、部屋割り (普通名詞)

4. 長さ、重さ、貨幣などの単位はすべて接尾辞とする。

(センチメートル、キログラムなどはセンチ/メートル、キロ/グラムとせずに長単位で一語とする)

e x. メートル、キログラム、トン、尺、平方メートル、リットル、ドル、フラン

5. 接尾辞を含んでいるが、分割することができない単語は、一語で普通名詞とする。

e x. 会費、会員、男性、人類、年末、船便

6. 「十、百、千、万、億」などの接尾辞は数詞に接続する接尾辞であるが「十二回」

「百円」など、数詞に接続していない場合の品詞は接尾辞とはせずに、数詞とする。

「十」が接尾辞になる場合

三十回 → 三 (数詞) / 十 (接尾辞) / 回 (接尾辞)

数十回 → 数 (接頭辞) / 十 (接尾辞) / 回 (接尾辞)

「十」が数詞になる場合

十二回 → 十 (数詞) / 二 (数詞) / 回 (接尾辞)

7. 住所名などに後接する特別な接尾辞は以下のものとする。

接尾辞	東京	大阪	神奈川	相楽	京都	世田谷	四条	日の出
	都	府	県	郡	市	区	町	村

* 行政区画ではない「町」がついているものは分割することができないので、「〇〇町」で住所名とする。

* 「北海道」は一語で住所名とする。

15 その他

1 読みについて

原文の半角読み <……> を採用する。

2 標準表記について

下記の順を優先する。

- (1) ATR辞書の標準表記
- (2) 大辞林の一番上にエントリされている語
見出し語の▲及び△の漢字は採用せず平仮名表記とする。

(3) 「感動詞」「連体詞」「接続詞」「代名詞」「助動詞」補助動詞は漢字表記があまり意味を持たないことが多い。したがって、原則としてかな表記とする。

- (4) 大辞林で項目はあるが、品詞がついていないものについてはすべて普通名詞とする。

例外

- ・感動詞 : 分かりました、申し訳ありません
- ・連体詞 : 大きな、小さな、当
- ・接続詞 : 同じく、実は
- ・代名詞 : 皆、私、君、彼
- ・補助動詞 : 願う、願える、申し上げる (「～てほしい」はかな表記)

3 一品詞の中に () [] を含む場合について

() の前後を「その他」とする。

●では、トラベラー (ル) ズチェックでお願いします。

|トラベラー|トラベラー|トラベラー|その他|

| (| | (| 記号 |

|ル|ル|ル|その他|

|) | |) | 記号 |

|ズチェック|ズチェック|ズチェック|その他|

●それでも静かにならない場 [あ] 合は、もう一度連絡頂けますでしょうか。

|場|バ|場|その他|

| [| | [| 記号 |

|あ|ア|あ|間投詞|

|] | |] | 記号 |

|合|アイ|合|その他|

4 派生語について

採用しない。

1 6 助詞の整理《助詞の洗い出しとその例について》

略号の意味は以下の通りである。

- [格] 格助詞
- [準] 準体助詞
- [係] 係助詞
- [副] 副助詞
- [並] 並立助詞
- [接] 接続助詞
- [終] 終助詞
- [引] 引用助詞
- [連] 連体助詞

か

- か [副] [並] [終] [引]

[副] {いろいろな語につくが、多くは疑問を表す語や不定詞につく}

- ・一人当たり一万円か、ちょっとそれを越えるぐらいなんですけども。

[並] {体言や用言、その他の語に付く。いくつかのものを並べあげて、そのうちの一つを選ばせたり、そのいずれともはっきりしないさまを述べたりするのに用いる}

- ・ファックスか何かでお送りいたしましょうか。

[終] {体言および活用語の終止形につく。「だ」には疑問を表す語句のあとにきた場合にだけつく}

- ・鈴木様、どうなさいましたか。

[引] {節をとる場合だけ引用助詞とする。名詞類をとるときは引用助詞にはならない}

- ・四条河原町からどうやって行ったらいいか教えて下さい。

- かと [副] [引]

[副] {体言につくとき}

- ・だいたい二十四ドルかと存じますが

[引] {活用語につくとき}

- ・週末、オペラ鑑賞ができるかと存じます。

- から [格] [接]

[格] {体言または体言あつかいのものにつく。下に方向性あるいは始発性を含む動詞・助動詞を伴う}

・午前十一時三十分から午後三時までです。

[接] {活用語の終止形につく}

・座席指定となっておりますから、当日席がないと困ります。

● が [格] [接]

[格] {体言または体言扱いのものにつく}

・今日の午後は都合が悪いです。

[接] {活用語の終止形につく}

・宴会場についてお聞きしたいんですが。

さ

● じゃ [格] [接]

[格] {場所格など、さまざまな格を受けるとき}

・夕方じゃ困るんです。あすの朝十時にチェックアウトするので～

[接] {原因・理由を表す時に用いる}

★ ・いくらお金をためても死んじゃ何もならない。

● ぞ [副] [終]

[副] {文中の疑問詞を受けて、不定の意を表す}

★ ・だれぞに聞いてくれ

[終] {口語では男性用語。活用語の終止形につく}

★ ・ほくの方が正しいぞ。

た

● たり [並] [接]

{完了の助動詞「たり」の助詞化したもの。活用語の連用形につく。ガ行イ音便あるいはン

音便の動詞には「だり」の形でつく

[並]

・交換してもらったり、返品してもらったりすることがあったときに～

[接]

・子供が恐がったりしないかしら。

● だって [接] [副]

[接] {完了の助動詞「た」に接続助詞「とて」のついた形「たとて」の転} {活用語の連用形につく。}

★ ・死んだって忘れない。

[副] {指定の助動詞「だ」の終止形に副助詞「とて」のついた形「だとて」が音声的に変化した形。体言あるいは体言あつかいのものにつく}

★ ・先生だって人間なんだからいろいろあるわよ。

● って [係] [接] [終] [連]

[係] {語や文を話題として提示する。というのは。}

・トークンって何ですか。

[接] {活用語の終止形、接続助詞「から」などに接続する}

・そうじゃなくって、デイリーシテイ駅で降りて下さい。

[終] {文末につく}

・高いんですって。

[連] {「という」の変化したもの}

・京料理には、あんまりお肉ってのは聞かないですよ。

● で [格] [接]

[格] {格助詞「にて」が変化したもの。体言または体言あつかいのものにつく}

・そちらで予約はできますか。

[接] {活用語の音便に接続する}

・急いで行きます。

● でも [接] [副]

[接] {接続助詞「て」に係助詞「も」がついたもの。動詞・形容詞の連用形につく。イ音便の一部や撥音便に続く}

・薬飲んでも治らないんで

[副] {格助詞「で」に係助詞「も」が連なって一語となったもの。体言または体言あつかいのもの、および格助詞につく}

・明日の午後にでも伺います。

● と [格] [並] [接] [引]

[格] {体言または体言扱いの語につく}

・五〇八に泊まっている鈴木直子といいます。

[並] {体言または体言扱いの語につき、二つまたはそれ以上のものを並べ上げるのに用いる}

・お日にちと、お時間をお願いいたします。

[接] {多くは活用語の終止形につく。ただし、完了の助動詞「た」にはつかない} {推量の助動詞「う」「まい」の連体形につけて、仮定条件を表す句をつくりその仮定条件に拘束されることがなくあることが遂行されるであろうことを強く表すのに用いる}

・そうしていただけると助かります。

[引] {活用語に接続し、「言う」「見る」「決める」「呼ぶ」「思う」等の動詞を伴い内容を引用する場合に用いる} {「思う」に前接する「と」はすべて引用助詞である}

・午後一時には終わると思います。

● とか [副] [並] [引]

[並] {種々の語につく}

・衣装代とか撮影料合わせて、一人五十ドルまででいけますか。

[引] {引用の意味を表す。活用語に接続するか、「思う」に前接する}

・または、メキシコのアカプルコあたりとか思ってるんです。

● として [格] [接]

[格] {文の主語をうける体言または体言扱いのものにつく}

・参加者の方は入場料として、大人四ドル五十セント～

[接] {活用語について順接条件の意をもつ}

・エキストラベッドをつけたとして、おいくらになりますか。

● とともに [格] [接]

[格] {体言について「を伴って」「といっしょに」の意を表す}

・使用説明書とともに、ポケットベルをフロントの方にご用意しておきます。

[接] {活用語について「と同時に」の意を表す}

・電話をさしあげるとともに、転送させていただきます。

● とも [接] [終]

[接] {接続助詞「と」に係助詞「も」がついてできたもの。文語・口語いずれも動詞、動詞型活用の助動詞の終止形、形容詞、形容詞型活用の助動詞の連用形につく}

・遅くとも、五時頃までには、空港に着いていたいと思うんですが。

[終] {活用語の終止形に接続する。強い断定でもって言い切る場合に用いる}

・もちろんですとも

な

● なり [副] [並] [接]

[副] {文語の指定の助動詞「なり」から転じたもの。「なりと」「なと」の形でも用いられる。体言または体言あつかいのもの、および格助詞につく}

・もう一方はサイン会なりに、お使いいただいて結構ですが。

[並]

・特に見たい建物なりテーマなりはございますか。

[接] {動詞あるいは助動詞の終止形につく}

★ ・家に帰るなりどこかに遊びに行ってしまった。

● の [格] [準] [終] [連]

[格] {主格を表す}

・とても人気のあるコース

[準] {体言あるいは、活用語の連体形で終わる語句につく}

・髪をカットしたいんです。

[終] {準体助詞「の」から転じたもの。活用語の連体形につく。主に女性あるいは子供の用いる語}

・値段はいくらなの。

[連] {属格を表す}

・五〇八号室の鈴木です。

ま

● まで [格] [副]

[格] {体言、あるいは「時」という語が省略された形で動詞の連体形につく}

・午前十一時三十分から午後三時までです。

[副] {主として体言につく。また、「ほど」が省略された形で活用語の連体形につく}

・何もそこまでしてもらわなくても結構です。

や

● や [並] [終] [係]

[並] {体言または準体助詞「の」につく}

・お子様の好きなお肉料理やフルーツをたくさん入れてあります。

[終] {体言、勧誘を表す助動詞「う」の終止形、動詞の否定形、あるいは感情を表す形容詞につく}

・同じ階だったらこれはいいや。

[係] {係助詞「は」に置き換えても意味が通じる場合}

・広すぎやしませんか。

17 助詞の接続表

	格助詞	準 体 助 詞	係 助 詞	副 助 詞	並立 助 詞	接続 助 詞	終 助 詞	連体 助 詞	引用 助 詞
体言に接続するもの	が から じゃ で でもって と といたしまして として と共に に に当たって において に限り にかけて に関して に際して にしる にせよ に対して について につき にて によつて により にわたつて の の際に のために へ を をおいて をして を通じて を通して をもって	の	つたら って は も	か きり くらい こそ ごと さえ しか しも すら ずつ ぞ たりとも だけ だつて ついでや あ でも どう とか など なり なんか なんて のみ ばかり ほど まで やら	か たの だの と とかなり の や やら	じゃ どころか なら	か かしら さ ねえ や よ わ	つて という といった に当たつて の における に関する に際しての に対する による にわたる の のための についての にとつての	か かと かどうか と とか

	格助詞	準体助詞	係助詞	副助詞	並立助詞	接続助詞	終助詞	連体助詞	引用助詞
活用語の終止形に接続するもの	が から じゃ で でもって と といまして と一緒に と比べて として と共に に に当たって において に限り にかけて に関して に比べて に際して にしろ にせよ に対して について につき にて にとつて によって により にわたって の の際に のために へ を をおいて をして を通じて を通して をもって			か とか なんて やら	か とか なり	あげく あげくに おかげで から が がゆえに けど けども けれども し じゃ せいで だけあつて だけに と ところが ところで としたら として としても としましたら としましても とすると とすれば とも どころか ながら なら にしたがい にしたがって にもかかわらず のに やいなや	い か かしら こと させ ぞ つけて つて とも なあ ね ねえ もの もんか やら よわ	つて という	か かと かどうか と とか
連用形に接続するもの	に		は も	さえ	たり だり	がてら しだい たって たら たり だつて だり ちゃ つても つつ て ても で でも ども(形容詞に) ながら(動詞に)			

	格助詞	準体助詞	係助詞	副助詞	並立助詞	接続助詞	終助詞	連体助詞	引用助詞
連体形接続	まで より	の		きり(動詞に) くらい ごと(動詞に) しか(動詞に) だけ のみ ばかり ほど まで	や やら	くせに ところ とたんに ので まま ままで もので ものですから ものなら ものの ものを わりに	の		のか
仮定形接続						ば			
命令形接続	と				とか		な (特殊) よ		と とか
未然形接続									

18 活用表

18-1 動詞活用表

活用種類	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
五段	書/く	書	か こ	き い	く	く	け	け
一段	受け/る	受け	φ	φ	る	る	れ	ろ よ
カ行 変格	来る	φ	こ	き	くる	くる	くれ	こい
サ行 変格	する	φ	し せ さ	し	する	する	すれ	しろ せよ
特殊ラ	なさ/る	なさ	ら ろ	い っ り	る	る	れ	い
特殊ラ	いらっし ゃ/る	いらっし ゃ	ら ろ	い っ り	る	る	れ	い
特殊ラ	おっし ゃ /る	おっし ゃ	ら ろ	い っ り	る	る	れ	い
特殊ラ	くださ /る	くださ	ら ろ	い っ	る	る	れ	い
特殊ラ	くれ/る	くれ	φ	φ	る	る	れ	φ
特殊サ	ございま /す	ございま	せ しよ	し	す	す	すれ	せ し
文語 サ変	す	φ	せ	し	す	する	すれ	せよ

1 8 — 2 形容詞活用表

活用種類	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
形容詞	美し/い	美し	かろ	かつ く	い	い	けれ	φ
形容詞 特殊	よ/い	よ よさ	かろ	かつ く	い	い	けれ	φ
形容詞 特殊	な/い	な なさ	かろ	かつ く	い	い	けれ	φ

18-3 助動詞活用表

活用種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	接続
一段	せ/る	せ	φ	φ	る	る	れ	ろよ	五段・サ変の未然形
一段	させ/る	させ	φ	φ	る	る	れ	ろよ	一段・カ変・サ変の未然形
一段	しめ/る	しめ	φ	φ	る	る	れ	よ	未然形
一段	れ/る	れ	φ	φ	る	る	れ	ろよ	一段・サ変の未然形
一段	られ/る	られ	φ	φ	る	る	れ	ろよ	一段・カ変・サ変の未然形
形容詞	ない	な	かろ	かく	い	い	けれ	φ	未然形 連用形(形容詞に接続する場合)
形容詞	た/い	た	かろ	かく	い	い	けれ	φ	連用形
形容詞	らし/い	らし	φ	かく	い	い	φ	φ	終止形
形容動詞	だ	φ	だろ	だっでに	だ	な	なら	φ	名詞・助詞 終止形
形容動詞	そう/ だ・です	そう	だろ	だっでに	だ	な	なら	φ	形容詞語幹 連用形
形容動詞	よう/ だ・です	よう	だろ	だっでに	だ	な	なら	φ	終止形
形容動詞	みたい/ だ・です	みたい	だろ	だっでに	だ	な	なら	φ	連体形
特殊サ	ま/す	ま	せしよ	し	す	す	φ	せし	連用形
特殊サ	で/す	で	しよ	し	す	す	φ	φ	名詞・助詞 終止形

活用種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	接続
特殊	た	φ	たろ	φ	ただ	ただ	たら	φ	連用形
特殊	ぬ(ん)	φ	φ	ず	ぬ(ん)	ぬ(ん)	ね	φ	未然形
無変化	う	φ	φ	φ	う	う	φ	φ	未然形
無変化	よう	φ	φ	φ	よう	よう	φ	φ	未然形
無変化	まい	φ	φ	φ	まい	まい	φ	φ	終止形

18-4 助動詞 (文語) 活用表

活用種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	接続
一段	す	φ	せ	せ	す	する	すれ	せよ	未然形
一段	さ/す	さ	せ	せ	す	する	すれ	せよ	未然形
一段	し/む	し	め	め	む	むる	むれ	めよ	未然形
一段	る	φ	れ	れ	る	るる	るれ	れよ	未然形
一段	ら/る	ら	れ	れ	る	るる	るれ	れよ	未然形
一段	つ	φ	て	て	つ	つる	つれ	てよ	連用形
ナ変	ぬ	φ	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね	連用形
ラ変	た/り	た	ら	り	り	る	れ	れ	已然形又は命令形四段未然形サ変
ラ変	り	φ	ら	り	り	る	れ	φ	連用形
ラ変	め/り	め	φ	(り)	り	る	れ	φ	終止形(ラ変以外助動詞)連体形(ラ変・形容詞・助動詞)
ラ変	な/り	な	φ	(り)	り	る	れ	φ	終止形(ラ変以外助動詞)連体形(ラ変・形容詞・助動詞)
ラ変	侍/り	侍	ら	り	り	る	れ	れ	連用形
四段	候/ふ	候	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	連用形
サ変	んず <むず>	んず <むず>	φ	φ	φ	る <る>	れ <れ>	φ	未然形
形容詞	べ/し	φ	く から	く から	し	き かる	けれ	φ	終止形(ラ変以外助動詞)連体形(ラ変・形容詞・助動詞)
形容詞	た/し	た	く から	く かり	し	き	けれ	φ	連用形
形容詞	ご/とし	ごと	く	く	し	き	φ	φ	連体形 連体形+が、名詞+の
形容詞	まほし	まほし	く から	く かり	φ	き かる	けれ	φ	終止形(ラ変以外・助動詞)連体形(ラ変・形容詞・助動詞)
形容詞	まじ	まじ	く から	く かり	φ	き かる	けれ	φ	未然形

活用種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	接続
形容動詞	な／り	な	ら	り に	り	る	れ	れ	名詞・連体形・ 助詞
形容動詞	ごとくな ／り	ごとくな	ら	り ごとくに	り	る	れ	れ	連体形 連体形+が、名詞+の
形容動詞	た／り	た	ら	り と	り	る	れ	れ	名詞
特殊	ず	φ	(な) ず ざら	(に) ず ざり	ず (ざり)	ぬ ざる	ね ざれ	ざれ	未然形
特殊	ま／し	ま	せ	φ	し	し	しか	φ	未然形
特殊	き	φ	(せ)	φ	き	し	しか	φ	連用形
特殊	ん<む>	φ	φ	φ	ん <む>	ん <む>	め	φ	未然形
特殊	け／ん <け/む>	け	φ	φ	ん <む>	ん <む>	め	φ	連用形
特殊	ら／ん <ら/む>	ら	φ	φ	ん <む>	ん <む>	め	φ	終止形(ラ変以外・ 助動詞)連体形(ラ 変・形容詞・助動詞)
無変化	ら／し	ら	φ	φ	し	し <しき>	し	φ	終止形(ラ変以外・ 助動詞)連体形(ラ 変・形容詞・助動詞)
無変化	じ	φ	φ	φ	じ	(じ)	(じ)	φ	未然形